

## 日野川の自然を堪能

独スポーツ少年団がラフティング体験



歓声を上げながら豪快に日野川を下る

7月30日、ドイツのスポーツ少年団が、日野町でラフティングを体験しました。

「日独スポーツ少年団同時交流」で訪れたのは、団長のサラ・カントさんをはじめ、17歳から26歳までの男女10人。これは、日本とドイツのスポーツ少年団が交流を通し、友好を深めることを目的としたもので、今年で42回を迎えます。29日来日した同スポーツ少年団の初日の活動として、D.O.スポーツ（森田勝彦会長）とラフティングを通じ交流しました。

はじめに、景山町長が「自然を感じながら、日本での楽しい思い

出の一つにしてください」とあいさつすると、森田さんも「安心して乗ってもらい、しっかり楽しんでください」と話しました。

ラフティングは、6人乗りのラフト（ゴムボート）で川を下り、全員で力を合わせてゴールを目指すスポーツです。D.O.スポーツのスタッフらは、同スポーツ少年団と身ぶり手ぶりを交えながら、日野川を豪快に下っていききました。同スポーツ少年団のメンバーらは、川に飛び込んだり、笑顔で大きな歓声を上げたりと、ラフティングを、そして日野川の自然を堪能している様子でした。

## 犯罪や非行のない安全・安心なまちづくりを訴える

社会を明るくする運動



雨の中、熱心に明るいまちづくりを呼びかける

7月の「社会を明るくする運動」の強調月間に合わせ、初日の7月1日、町内各地で関係者らによる街頭啓発活動が行われました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について理解を深めそれぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

JR根雨駅では、朝の通勤・通学の時間に合わせて関係者らが集まり、高校生らに呼びかけながら啓発用品を配布したほか、町内の小中学校などにも訪問し、明るいまちづくりを呼び掛けました。

## 気持ちよく参拝してもらいたい

金持長寿会が金持神社参道を整備



伸びた草木などを除去

7月19日、金持長寿会（若林悦幸会長）が、金持神社参道の整備を行いました。

当日は、会長の若林さんをはじめ、会員10人が参加し、参道付近を刈り払い機や竹ぼうきなどで掃除していききました。

毎年、休日平日を問わず多くの参拝者が訪れる金持神社。会員らは「ぜひ、きれいな環境で参拝してもらいたい」と、熱心に作業に取り組んでいました。

# 「地域を知る・地域とつながる」

日野高校活動紹介

日野高校プロデュース

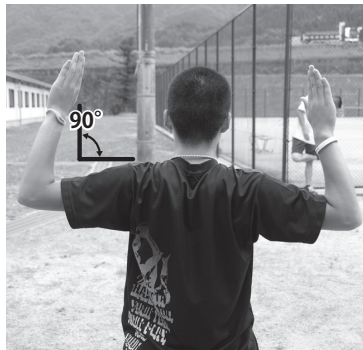
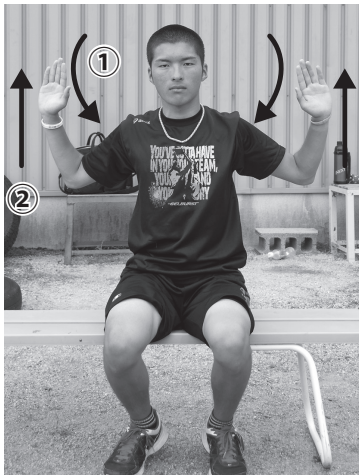
## 「家庭でできる！ カンタン健康トレーニング」



第2回

ご家庭のくつろぎタイムに、また仕事の休憩時間に、場所をとらず簡単にできる健康トレーニングを紹介します。  
**ほぐしてリラックス！「肩甲骨ほぐし」で肩こり軽減**

肩甲骨は腕の付け根にあり、体の中でも動きの自由度が高い部分にあります。肩甲骨を正しくスムーズに動かすことができれば、呼吸の質が上がり、肩こりも軽減し、姿勢も良くなってダイエットにもつながるなど、良いことばかり。簡単にできるストレッチですので、毎日行ってみてください。



①腕をまっすぐ上にあげて手のひらを合わせ、ゆっくり真横におろし、②再び腕をまっすぐ上にあげ手のひらを合わせます。そのとき、肩甲骨が肩周りの可動域の中心だと意識しながら行くと、より効果的です。

このストレッチを10セットを目安に行ってください。肩甲骨を腕の一部だと意識すれば、より動きが大きくなりますよ。終わった後は、疲れたように感じられるかもしれませんが、その後スッキリしてきます！ぜひお試しください。

☆今回は、日野高校陸上部主将の北崎虎雅<sup>たけみや</sup>さんに協力してもらいました。次回もご期待ください！

### 昔の写真・資料収集にご協力を

町では、今後刊行予定の「日野町史(仮)」の編さんにあたり、まちのあゆみ・歴史を物語る写真や資料などを収集しています。

次のような資料をお持ちの方はご連絡ください。



集中豪雨で流失した野田橋(昭和40年)

①日野町および旧町村に関する写真(明治から昭和の建物や地域の風景、祭り、行事など)

②日野町および旧町村に関する資料(行政の刊行物、書籍、商店チラシ、映像記録など)

③その他歴史的資料(古文書など)

※これらの資料をお持ちの方は、下記連絡先までお知らせください。記録を取ったうえで、資料価値の高いものについては、町史編さんに使用させていただく予定です。

■連絡先 日野町史編さん室(役場企画政策課内)  
(電話72-0332)

### ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第25回

「そら」  
「あつこのそらの田んぼが  
うちげのです」。  
日野地域では、低い位置か  
ら見た高い所や、上の方のこ  
とを「そら」といいます。家  
の天井も高い山も同様に「そ  
ら」です。  
「空」が連想されるため、  
地域外の人にもニュアンスが  
伝わる、珍しい方言ではない  
でしょうか。  
ちなみに、「走る」ことは  
「とぶ」と表現するので、「上  
の方を走る」のは、さしずめ  
「そらをとぶ」となるのでしょ  
うか？

#### 日野弁ピックアップ「そ」

そおけ…そうき、竹ざる そおず…水車、水辺、水源  
そおどおする…騒ぐ。 そおりきり…トカゲの一種。  
そくる…藁をさばく。  
そげ…そのように、それほど、そんなに。  
そさね…うたた寝。仮眠。  
そずる…削る。そぎ取る。 そね…山の尾根。  
そばり…とげ。 そぶける…驚く。  
ぞんぞがつく…身震いがする。寒気で震える。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会